

## 2-2 (a)インターネット調査 概要

主要都市圏における移住意向者調査  
 <(a)インターネット調査>

## ■調査概要

項目	内容
① 調査方法	インターネット調査 (調査専門機関のインターネット調査モニターを使用)
② 調査対象	調査対象の居住都市圏から、他の市町村への移住意向を持つ20～69歳の男女 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移住意向条件           <ol style="list-style-type: none"> <li>1)具体的に移住を検討している</li> <li>2)具体的ではないが移住を考えている</li> <li>3)過去に移住を考えたことがある</li> </ol> </li> </ul>
③ 調査地域	<input type="checkbox"/> 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県) <input type="checkbox"/> 関西圏(大阪市、神戸市、京都市) <input type="checkbox"/> 名古屋圏(名古屋市) <input type="checkbox"/> 札幌圏(札幌市)
④ 調査規模	2,000件(回収) 1)予備調査:約11,000人に移住意向のみの予備調査 2)本調査:1)から移住意向条件に合致する者(2,000人)に本調査を実施
⑤ 調査内容	a. 移住意向度(再確認) b. 基本属性(性別、年代、職業、家族構成、年収、出身地等) c. 候補とする移住先(全国、北海道の場合) d. 移住地選択で重視すること、不安に感じる事 e. 期待する移住後の生活スタイル f. 北斗市の認知度、北斗市について知っていること g. 北斗市の「強み」に対する評価 h. 北斗市と競合地の相対評価(選好度)、北斗市を検討する度合い i. その他
⑥ 調査時期	平成28年7月20日(水)～26日(火)

(参考：圏域の人口)

圏域名	総数	20代	30代	40代	50代	60代	
札幌圏	札幌市	1,241,655	181,486	233,662	295,913	264,588	266,006
	圏域計	23,358,752	3,813,540	4,980,918	5,741,340	4,184,826	4,638,128
首都圏	東京都	8,739,249	1,504,548	1,994,620	2,154,056	1,529,345	1,556,680
	埼玉県	4,715,524	744,304	953,426	1,141,143	852,697	1,023,954
	千葉県	4,005,407	628,922	807,111	957,014	727,857	884,503
	神奈川県	5,898,572	935,766	1,225,761	1,489,127	1,074,927	1,172,991
	圏域計	10,672,696	1,714,662	2,121,497	2,557,172	1,935,948	2,343,417
名古屋圏	愛知県	4,698,956	789,871	979,423	1,127,918	841,947	959,797
	圏域計	10,672,696	1,714,662	2,121,497	2,557,172	1,935,948	2,343,417
	大阪府	5,565,627	904,064	1,121,027	1,365,411	983,219	1,191,906
	京都府	1,598,799	260,089	315,320	369,444	289,287	364,659
兵庫県	3,508,270	550,509	685,150	822,317	663,442	786,852	
圏域計	39,972,059	6,499,559	8,315,500	9,722,343	7,227,309	8,207,348	

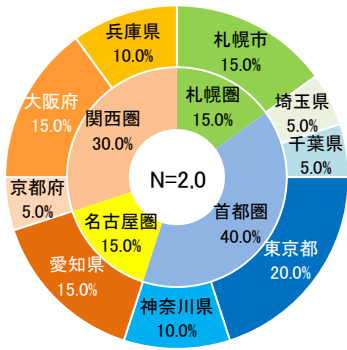
■標本配分表 ※各年代での男女構成は50%:50%とする

圏域名	総数	20代	30代	40代	50代	60代
札幌圏(札幌市)	300	60	60	60	60	60
圏域計	800	160	160	160	160	160
首都圏	東京都	400	80	80	80	80
	埼玉県	100	20	20	20	20
	千葉県	100	20	20	20	20
	神奈川県	200	40	40	40	40
	圏域計	300	60	60	60	60
名古屋圏(愛知県)	圏域計	600	120	120	120	120
	大阪府	300	60	60	60	60
	京都府	100	20	20	20	20
	兵庫県	200	40	40	40	40
圏域計	2,000	400	400	400	400	400

2-2 (a)インターネット調査 概要

■回答者プロフィール①

①地域構成(注:割付設定)



②性別構成(注:割付設定)

(%)	男性	女性
全体(N=2,000)	50.1	50.0
札幌圏(N=300)	50.0	50.0
首都圏(N=800)	50.1	50.0
名古屋圏(N=300)	50.0	50.0
関西圏(N=600)	50.0	50.0

③未既婚(注:割付設定)

(%)	未婚	既婚
全体(N=2,000)	42.2	57.9
札幌圏(N=300)	47.7	52.3
首都圏(N=800)	40.8	59.3
名古屋圏(N=300)	38.4	61.6
関西圏(N=600)	43.1	56.9

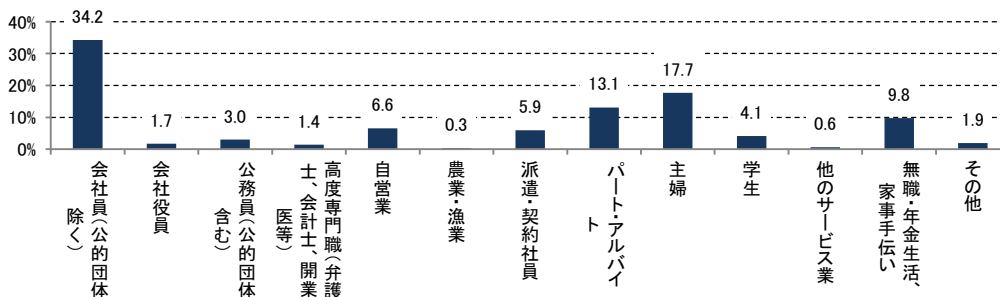
④年代構成(注:割付設定)

(%)	20代	30代	40代	50代	60代
全体(N=2,000)	20.1	20.1	20.0	20.1	20.1
札幌圏(N=300)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
首都圏(N=800)	20.0	20.0	20.1	20.1	20.0
名古屋圏(N=300)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
関西圏(N=600)	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

⑤家族人数

(%)	単身	2人	3人	4人	5人以上
全体(N=2,000)	19.5	27.3	25.9	19.9	7.6
札幌圏(N=300)	24.7	29.7	25.3	14.0	6.3
首都圏(N=800)	19.4	27.0	27.9	18.4	7.4
名古屋圏(N=300)	15.7	22.7	25.3	29.3	7.0
関西圏(N=600)	19.0	28.8	23.8	20.0	8.3

⑥職業

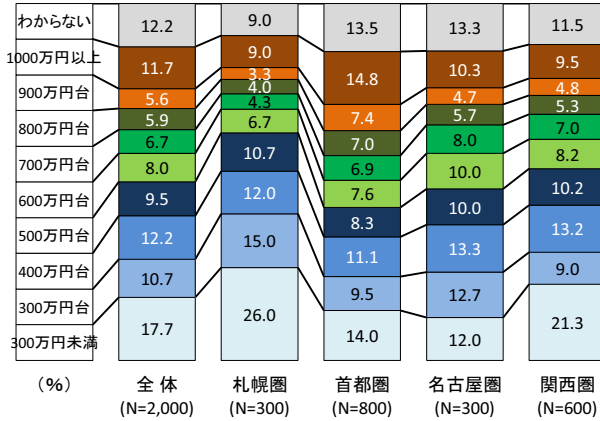


	会社員(公的団体除く)	会社役員	公務員(公的団体含む)	開業(医等)	高度専門職(弁護士、会計士、開業)	自営業	農業・漁業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	学生	他のサービス業	無職・年金生活、家事手伝い	その他
全体(N=2,000)	34.2	1.7	3.0	1.4	6.6	0.3	5.9	13.1	17.7	4.1	0.6	9.8	1.9	
札幌圏(N=300)	32.7	2.0	4.0	1.3	5.7	0.3	8.0	13.0	16.3	4.7	0.3	10.7	1.0	
首都圏(N=800)	33.0	2.1	3.1	1.6	5.6	0.3	6.6	12.6	18.4	3.8	1.1	9.4	2.4	
名古屋圏(N=300)	36.7	1.3	2.7	1.3	6.7	0.3	4.3	11.0	20.3	3.7	0.3	9.7	1.7	
関西圏(N=600)	35.3	1.2	2.5	1.0	8.2	0.2	4.7	14.7	16.2	4.3	0.2	10.0	1.7	

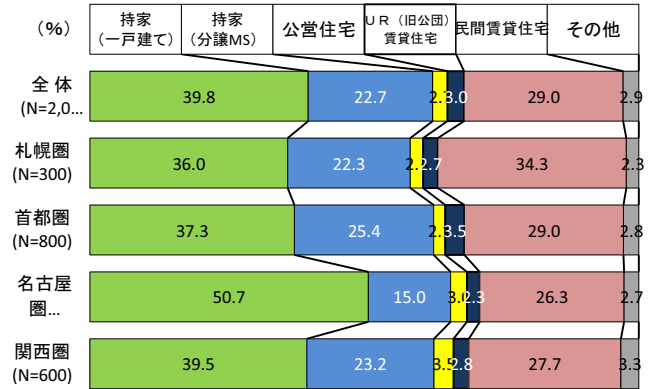
2-2 (a)インターネット調査 概要

■回答者プロフィール②

⑦世帯年収



⑧住居形態



⑨出身地(本人・配偶者)

地域	サンプル数	本人								
		北海道	東北	関東	北陸・甲信越	中部	関西	中国・四国	九州・沖縄	
全体	2,000	15.7	3.3	29.3	3.2	14.6	25.3	4.8	4.0	
札幌圏	300	88.3	3.7	4.0	0.3	0.7	1.7	0.7	0.7	
首都圏	800	4.5	6.1	66.3	4.5	6.0	5.0	3.8	3.9	
名古屋圏	300	1.0	1.0	6.3	3.3	74.3	4.7	4.3	5.0	
関西圏	600	1.5	0.5	4.0	2.8	3.2	74.5	8.3	5.2	

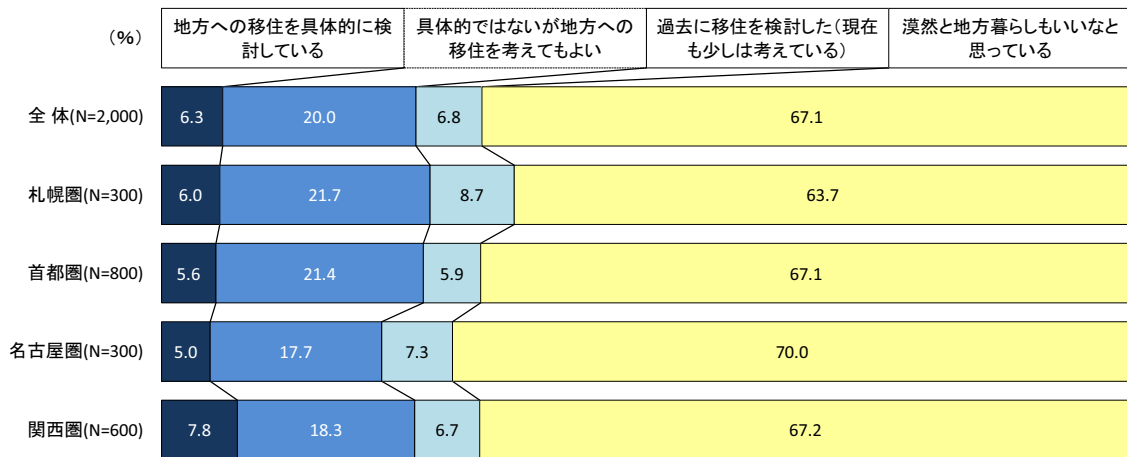
地域	サンプル数	配偶者								
		北海道	東北	関東	北陸・甲信越	中部	関西	中国・四国	九州・沖縄	
全体	1,157	14.5	3.5	28.1	3.1	15.1	24.3	6.1	5.3	
札幌圏	157	85.4	3.2	3.8	1.3	0.6	2.5	1.3	1.9	
首都圏	474	4.4	6.8	62.4	4.2	5.7	6.8	4.2	5.5	
名古屋圏	185	2.7	0.5	4.3	2.2	74.1	5.4	5.9	4.9	
関西圏	341	2.3	0.9	4.4	2.9	2.9	68.9	10.9	6.7	

2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

1)移住意向・理由

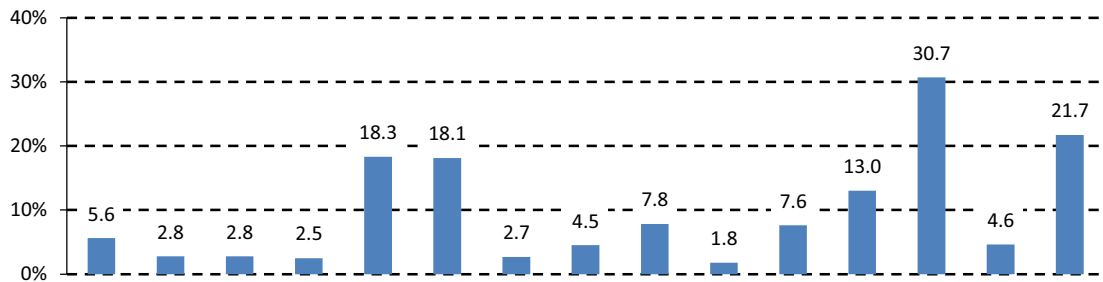
■移住の意向

- 地方への移住を「真剣に検討している」割合は6%程度で、圏域・道内外でも大差ない。
- 圧倒的多数は「漠然と＝何となく移住も良い」程度にとどまる。



■移住を考える理由

- 単に田舎暮らしがしたい、何となくなどの漠然とした思いが中心であり、その傾向はどの地域でも同じ。
- 「退職後の終の棲家」として移住を考える者は2割程度で、首都圏に比較的多い。



理由	全体 (%)	札幌圏 (%)	首都圏 (%)	名古屋圏 (%)	関西圏 (%)
単に田舎暮らしがしたい	30.7	32.7	27.9	31.7	32.8
退職後の終の棲家として	21.7	16.7	20.6	16.3	16.2
子育て環境	18.3	19.3	18.1	17.3	18.3
親の死後(同居など)の必要がなくなった	18.1	3.7	2.3	4.3	1.8
結婚	5.6	8.3	4.4	6.0	5.5
子ども(入学など)の成長	2.8	2.0	3.0	2.7	2.8
子ども(卒業)の社会人になった	2.8	3.0	2.4	2.7	3.3
子ども(進学)の大学	2.5	2.7	2.6	4.0	1.5
環境(子育て)対策、教	2.5	2.7	2.6	4.0	1.5
気候が良い	18.3	19.3	18.1	17.3	18.3
退職後の終の棲家として	18.1	16.7	20.6	16.3	16.2
必要がなくなった	2.7	3.7	2.3	4.3	1.8
親の死後(同居など)の必要がなくなった	4.5	3.3	4.9	6.0	3.8
地元(親と同居)の必要がなくなった	7.8	7.3	8.8	6.0	7.5
地元(親と同居)の必要がなくなった	1.8	1.0	1.9	2.7	1.7
地元(親と同居)の必要がなくなった	7.6	9.7	6.0	9.3	7.8
地元(親と同居)の必要がなくなった	13.0	12.0	15.8	9.7	11.3
地元(親と同居)の必要がなくなった	4.6	4.3	4.9	3.0	5.2
その他(具体的に記)	21.7	18.7	22.5	21.7	22.2

2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

2)移住形態・移住希望地・希望地選択理由

■想定している移住の形態

- 完全移住の割合はどの圏域でも40%前後。
- 二地域居住のニーズが2割程度に上る。(名古屋圏・首都圏でやや多い)

(%)	完全移住	二地域居住	避暑避寒など一時期、プチ移住	そこまで考えていない
全体 (N=2,000)	39.4	22.2	11.9	26.6
札幌圏 (N=300)	40.0	20.7	12.7	26.7
首都圏 (N=800)	39.0	23.0	11.3	26.8
名古屋圏 (N=300)	37.0	23.3	13.7	26.0
関西圏 (N=600)	40.8	21.3	11.3	26.5

■想定する移住地

- 札幌圏は6割以上が道内(63%)中心。
- 北海道への移住のイメージを持つのは首都圏(14%)で比較的多い。全般に九州・沖縄が強い。

		サンプル数	北海道	東北	栃木・関東(茨城・群馬)	北陸・甲信越	静岡・中部(三重・岐阜・山梨)	奈良・西(和歌山)	中国・四国	九州・沖縄
全体		2,000	20.5	5.2	4.1	16.7	10.7	7.2	13.8	21.9
地域	札幌圏	300	62.7	5.7	1.3	2.3	3.7	2.3	5.0	17.0
	首都圏	800	14.1	8.3	8.6	21.1	12.4	3.4	10.0	22.1
	名古屋圏	300	11.0	2.7	1.0	23.7	24.7	4.3	9.3	23.3
	関西圏	600	12.7	2.2	0.8	14.3	5.0	16.2	25.5	23.3

2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

2)移住形態・移住希望地・希望地選択理由

■ 想定移住先を挙げた理由(地域に関わらず挙げられた割合＝移住地選択の基準として見る)

- 想定移住地を挙げた理由は圧倒的に「自然の豊かさ」だが、差別化されにくい項目。
- 「有名・地域イメージの良さ」は重要。特に首都圏で着目する傾向が強い。

全体(N=2,000)	
① 自然が豊か	55.1
② 気候が良い	38.3
③ 「地方・田舎ぐらし」が似合う	17.5
④ 余暇活動が充実できそう	14.5
⑤ 有名、イメージが良い	12.3
⑥ 住宅、土地などが確保しやすい (地価、物件価格が安いなど)	10.7
⑦ 今住んでいる地域との往来が便利	9.8
⑧ 大都市がある(近い)	9.2
⑨ その地域(道府県内で)の交通が便利	5.9
⑩ 生活の利便性が高い	5.9
その他	8.2
分からないが何となく	9.4

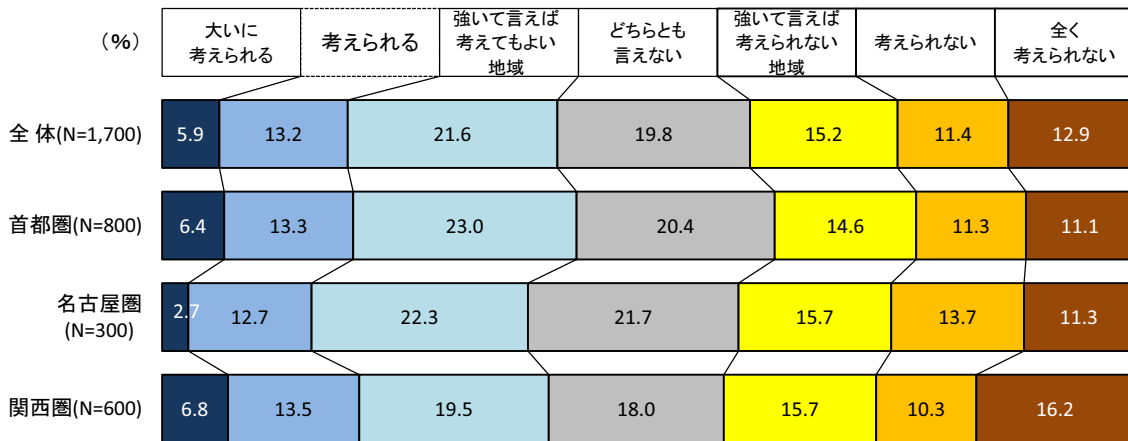
	札幌圏(N=300)	首都圏(N=800)	名古屋圏(N=300)	関西圏(N=600)
① 自然が豊か	54.0	自然が豊か 54.8	自然が豊か 60.0	自然が豊か 53.5
② 気候が良い	43.7	気候が良い 37.6	気候が良い 38.7	気候が良い 36.2
③ 「地方・田舎ぐらし」が似合う	25.7	「地方・田舎ぐらし」が似合う 14.4	「地方・田舎ぐらし」が似合う 18.0	「地方・田舎ぐらし」が似合う 17.2
④ 今住んでいる地域との往来が便利	17.0	有名、イメージが良い 13.8	余暇活動が充実できそう 16.0	余暇活動が充実できそう 16.2
⑤ 余暇活動が充実できそう	13.0	余暇活動が充実できそう 13.3	有名、イメージが良い 11.7	有名、イメージが良い 10.8
⑥ 有名、イメージが良い	12.0	住宅、土地などが確保しやすい (地価、物件価格が安いなど) 11.6	大都市がある(近い) 9.0	住宅、土地などが確保しやすい (地価、物件価格が安いなど) 9.8
⑦ 住宅、土地などが確保しやすい (地価、物件価格が安いなど)	11.3	大都市がある(近い) 8.9	今住んでいる地域との往来が便利 9.0	大都市がある(近い) 8.8
⑧ 大都市がある(近い)	10.7	今住んでいる地域との往来が便利 8.5	住宅、土地などが確保しやすい (地価、物件価格が安いなど) 9.0	今住んでいる地域との往来が便利 8.3
⑨ その地域(道府県内で)の交通が便利	7.7	その地域(道府県内で)の交通が便利 6.5	生活の利便性が高い 8.0	生活の利便性が高い 5.5
⑩ 生活の利便性が高い	6.3	生活の利便性が高い 5.3	子育て環境が良さそう 5.0	その地域(道府県内で)の交通が便利 5.0
その他	5.0	その他 9.8	その他 7.0	その他 8.2
分からないが何となく	10.3	分からないが何となく 10.0	分からないが何となく 8.0	分からないが何となく 8.8

2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

3)北海道への移住意向・希望地

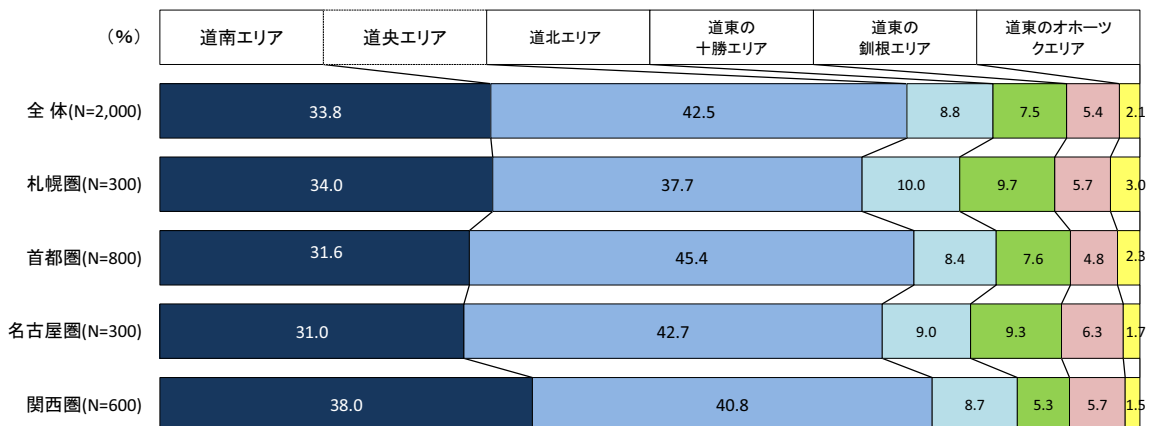
■北海道は対象になるのか(札幌圏は質問していない)

- 道外者が北海道を「移住先として考える」割合は“大いに考えられる+考えられる”の合計で2割程度。
- 名古屋圏がやや低い。



■北海道だとどの地域か

- 北海道に移住するとした場合に「道南圏」を挙げる割合は34%程度で、道央圏(43%)に次ぐ人気。
- 道南圏を挙げる割合は関西圏で38%と比較的多い。



## 2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

## 3)北海道への移住意向・希望地

## ■参考 具体的な地名分布(振興局ベースで集約)

	サンプル数	石狩地方	空知地方	後志地方	胆振地方	日高地方	渡島地方	檜山地方	上川地方	留萌地方	宗谷地方	オホーツク地方	十勝地方	釧路地方	根室地方
(%)															
全体	570	36.8	2.5	9.3	5.4	1.1	22.6	0.7	8.8	0.4	0.4	1.8	5.8	3.3	1.2
地域															
札幌圏	136	14.7	8.1	7.4	16.9	0.7	21.3	1.5	7.4	1.5	0.0	2.2	11.0	4.4	2.9
首都圏	246	45.9	0.8	6.9	2.4	0.8	22.8	0.8	7.7	0.0	0.0	2.0	5.7	3.7	0.4
名古屋圏	61	37.7	0.0	16.4	0.0	3.3	24.6	0.0	11.5	0.0	1.6	0.0	3.3	1.6	0.0
関西圏	127	42.5	0.8	12.6	1.6	0.8	22.8	0.0	11.0	0.0	0.8	1.6	1.6	2.4	1.6

## ■参考 渡島地方内訳

地名	件数
函館	69
函館市	51
森町	2
五稜郭	1
七飯町	1
長万部	1
函館近辺	1
函館市 知内町	1
函館市、知内町、木古内	1
北斗市	1
総計	129

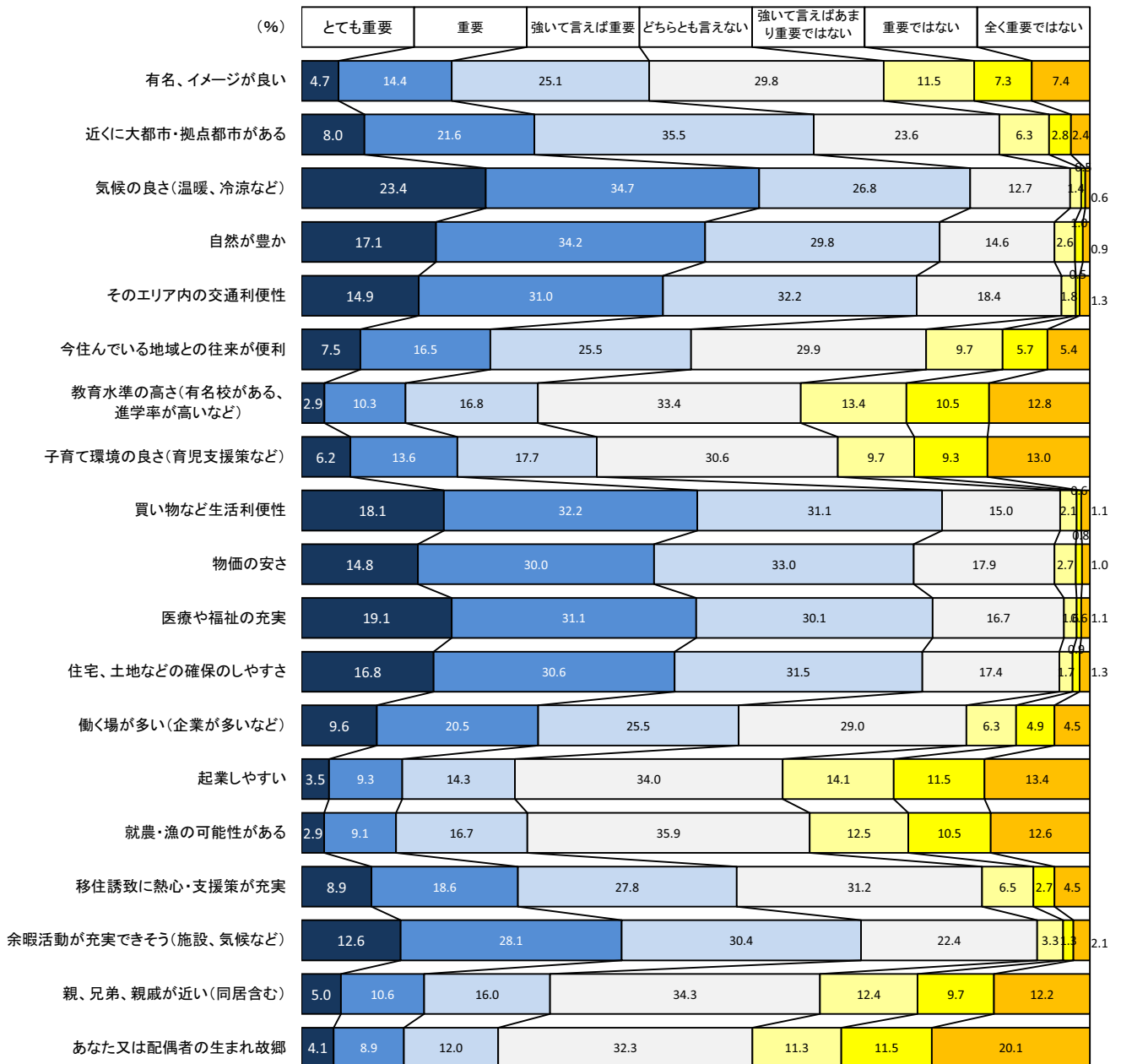


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

4)移住先の選択重視ポイント

■移住先を決める際の重視ポイント

- (濃い青が長い項目に着目)特に重視されるのは「気候の良さ」、「医療や福祉の充実」、「買い物などの利便性」、「自然が豊か」、「住宅・土地などの確保のしやすさ」など。「教育水準」や「子育て環境」などは、対象となる層が限定されるので相対的に重視度は下がる。

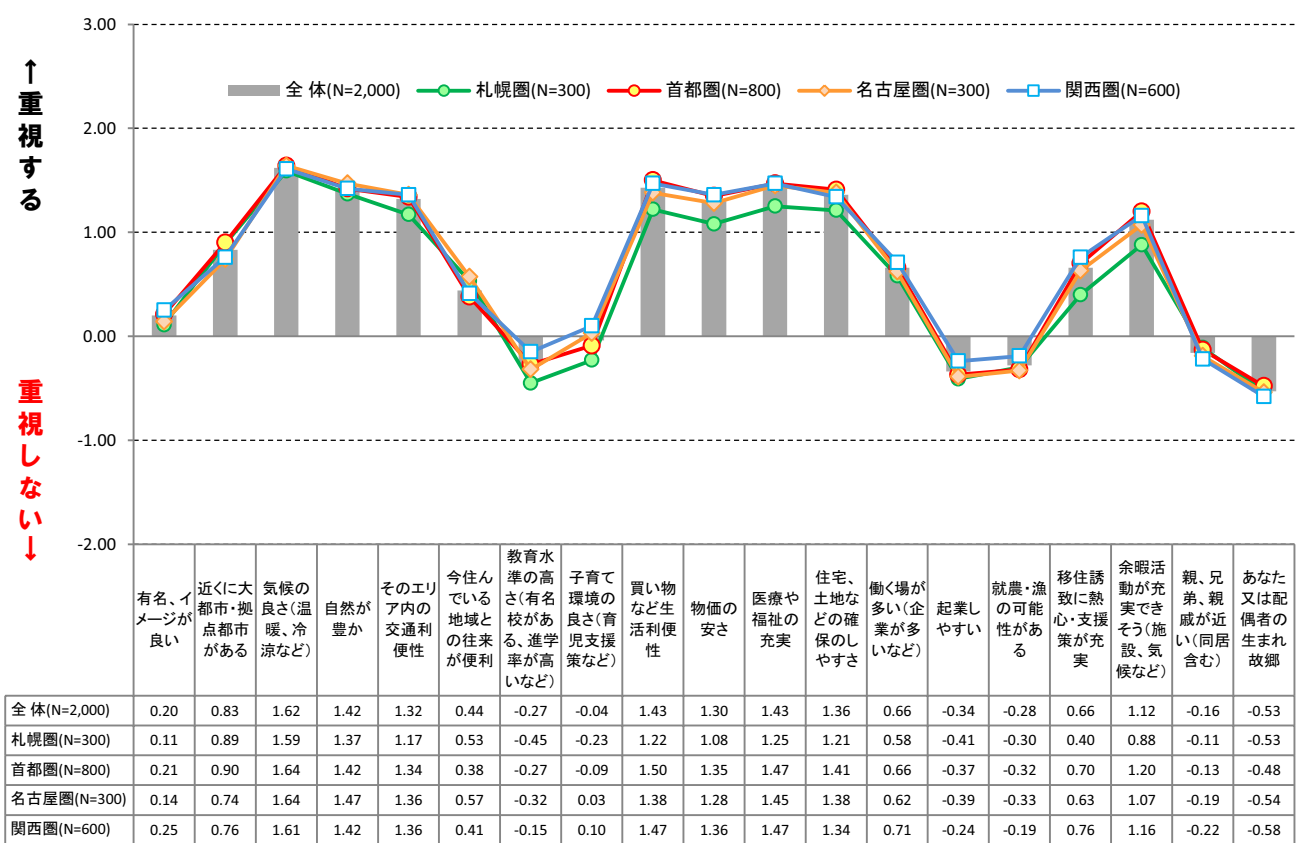


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

4)移住先の選択重視ポイント

■ 移住先を決める際の重視ポイント/ 重視度スコアで表したものの

- 調査圏域による重視度の差はあまり見られない。全体では 気候の良さ、買い物などの利便性、自然が豊か、医療や福祉の充実、住宅・土地などの確保のしやすさ、そのエリア内の交通利便性などの重視度が高い。
- 教育水準や子育て環境、起業のしやすさ、就農・漁の可能性などは、相対的に重視度が低い。

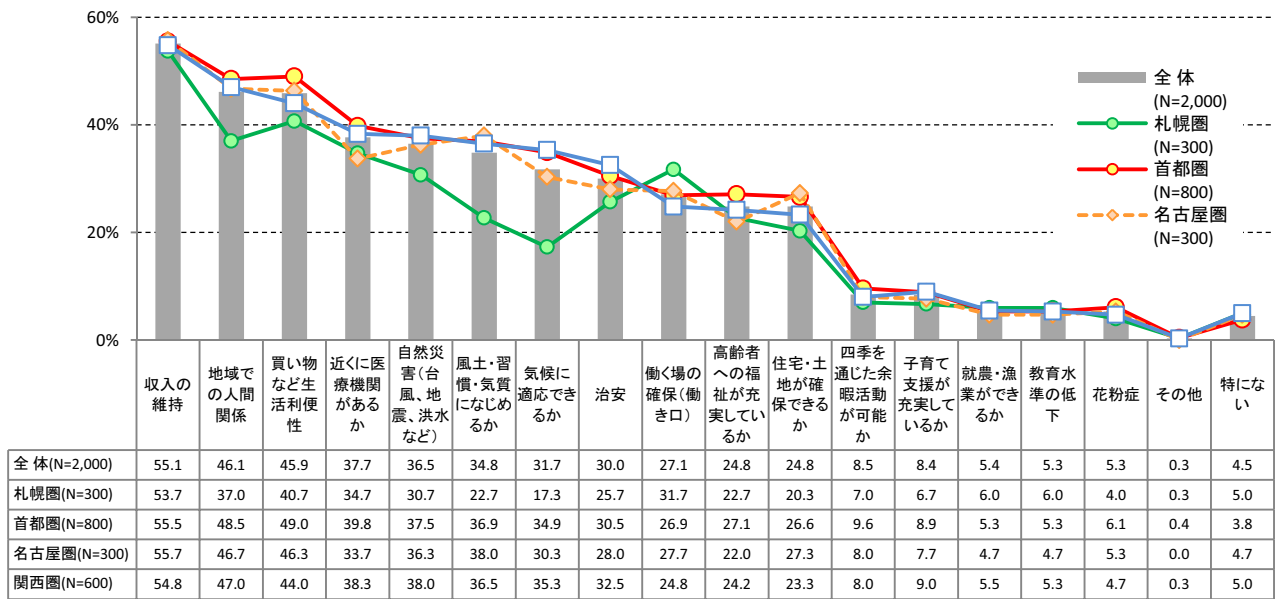


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

5)移住の不安点・移住後の生活志向

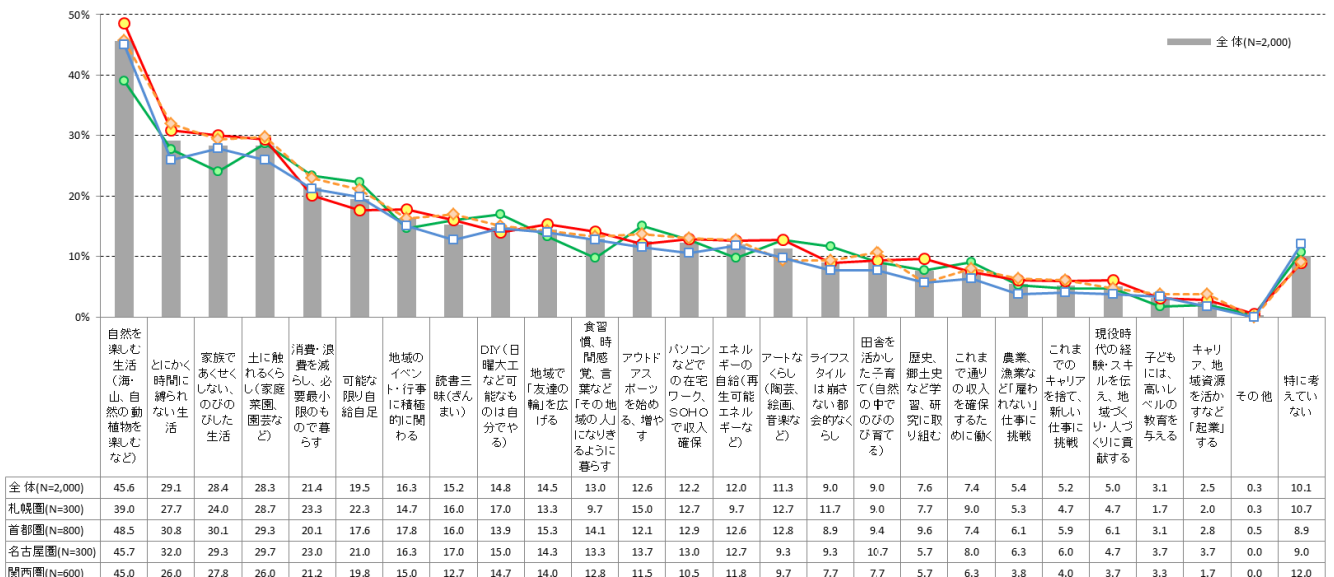
■移住に係る不安点

●「収入の維持」、「地域での人間関係」、「買い物など生活利便性」、さらに「近くに医療機関があるか」や「自然災害」などへの不安を払拭することが重要。



■移住した場合の生活スタイル

●「自然を楽しむ、土に触れる」、「時間に縛られない、家族であくせくしない」など、自然を活かし、ゆったり流れる時間を移住後の基本イメージとして描く人は多い。圏域による差異も少ない。



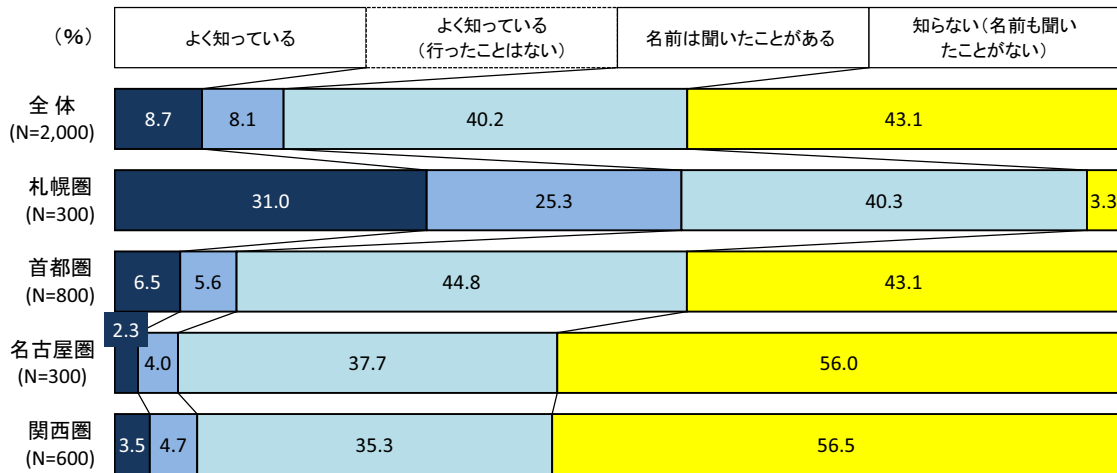
2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

6) 北斗市の認知と理解

■ 北斗市は知られているか・何を知っているか

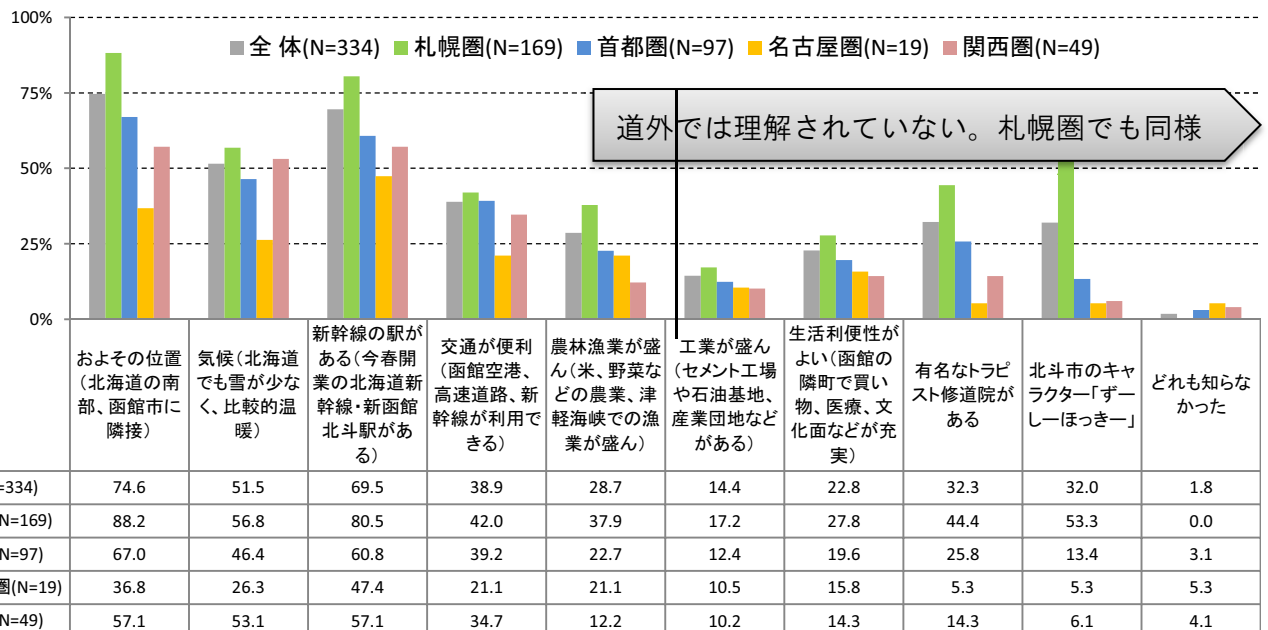
- 「よく知っている」と「よく知っている(行ったことはない)」の合計割合は、札幌圏では過半数(56%)だが、道外では少ない。  
(※首都圏は12%と若干多いが、名古屋・関西圏は10%未満)
- 知っている人でも、知っている内容は、およその位置、交通アクセス、道内でも比較的気候が良い程度である。
- 札幌圏でも北斗市の産業、生活利便性などまでは詳しく知らない。

○ 北斗市の認知度



○ 北斗市について知っていること

※ 上記で「よく知っている+よく知っている(行ったことはない)」と回答した者のみに質問

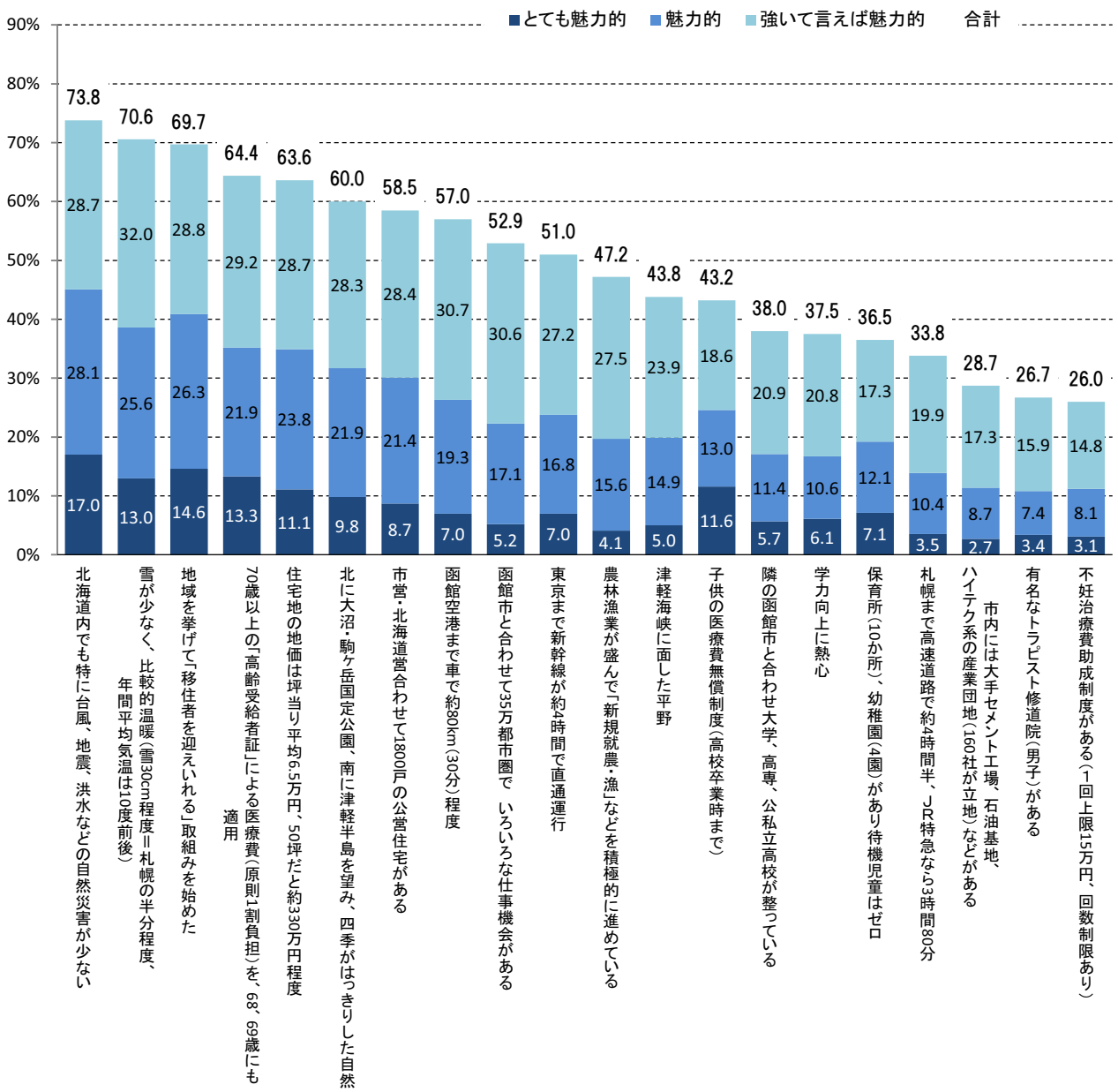


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

7)移住先としての北斗市の魅力度

■移住先としての北斗市魅力分野

●（濃い青が長い項目に着目）特に魅力的と映るのは「自然災害が少ない」、「地域を挙げて移住者を迎え入れる取組みが始まった」、「高齢者医療」、「少雪温暖」、「子供の医療費無償」、「地価の安さ」などであった。

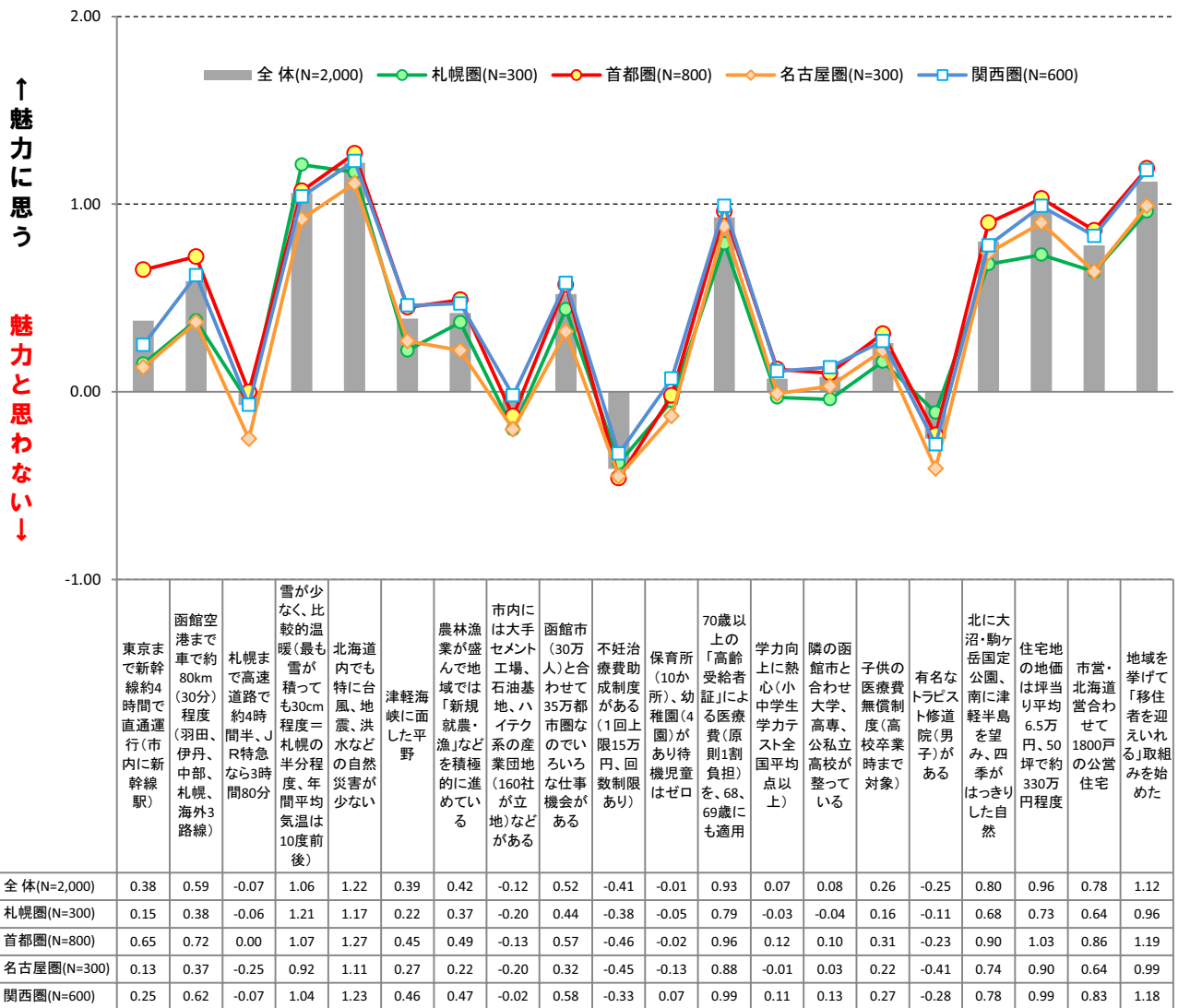


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

7)移住先としての北斗市の魅力度

■移住先としての北斗市魅力分野／魅力度スコア

- 魅力的と映る順位は ①道内でも特に自然災害が少ない ②地域を挙げて移住者を迎える取組みが始まった ③少雪温暖 ④地価の安さ ⑤高齢者医療 が上位である。
- 極端な圏域による評価差はないが、首都圏では「新幹線」評価が際立って大きい。



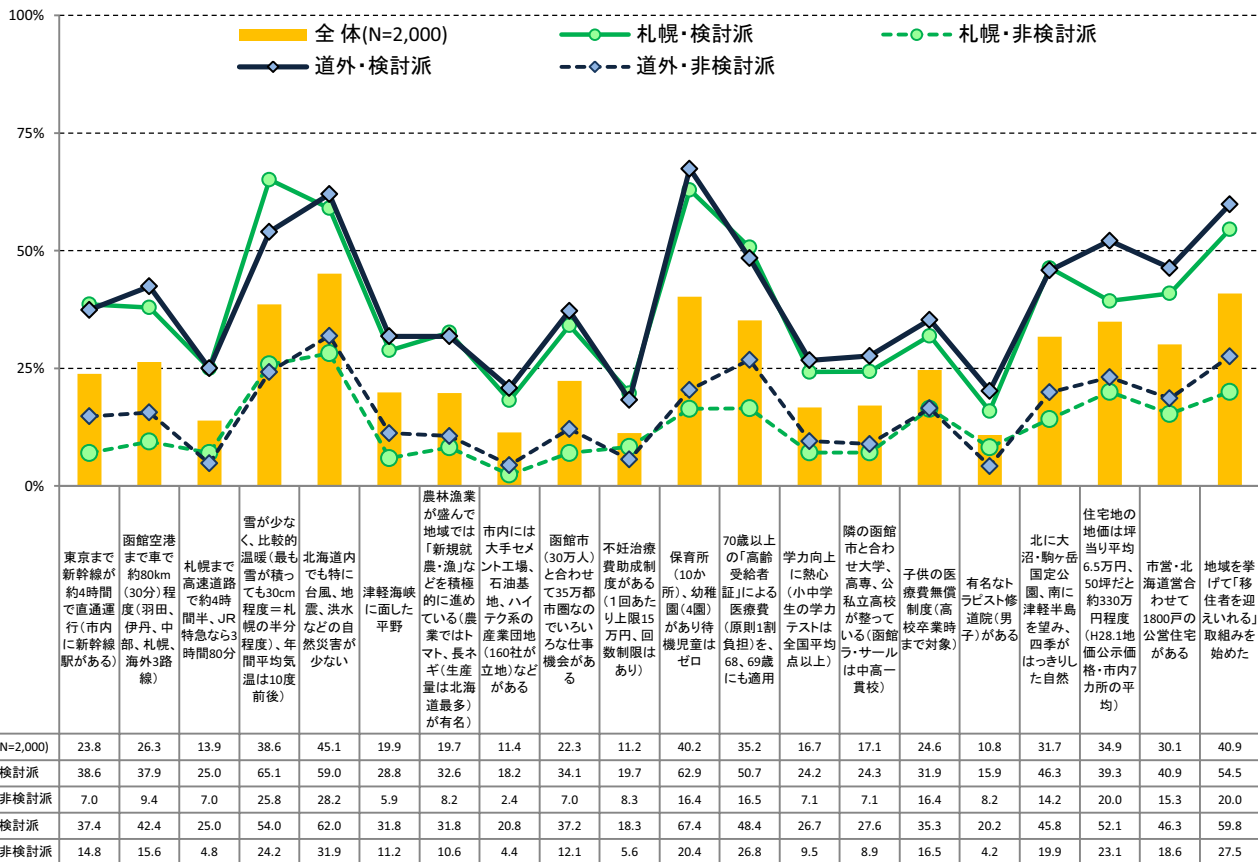
2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

7)移住先としての北斗市の魅力度

■移住先としての北斗市魅力分野／移住先として北斗市を検討有無と魅力評価の関係

下図は、札幌圏と道外に分けて「移住先として北斗市を検討する・しない」の層による魅力評価の割合比較。

- 「北斗市の魅力」への評価に対する道内外者の割合には差がない。
- 北斗市の検討派と敬遠派で最も魅力評価が分かれたのが「保育所・待機児童ゼロ」、「少雪温暖」など。
- 「学力向上」や「高校、大学などの充実」や「不妊治療対策」、「農林漁業が盛ん」、「大手の工場、産業団地」などは検討派と敬遠派とも低い魅力度で共通した。(※対象層が限定的なために、訴求重点になりにくい)



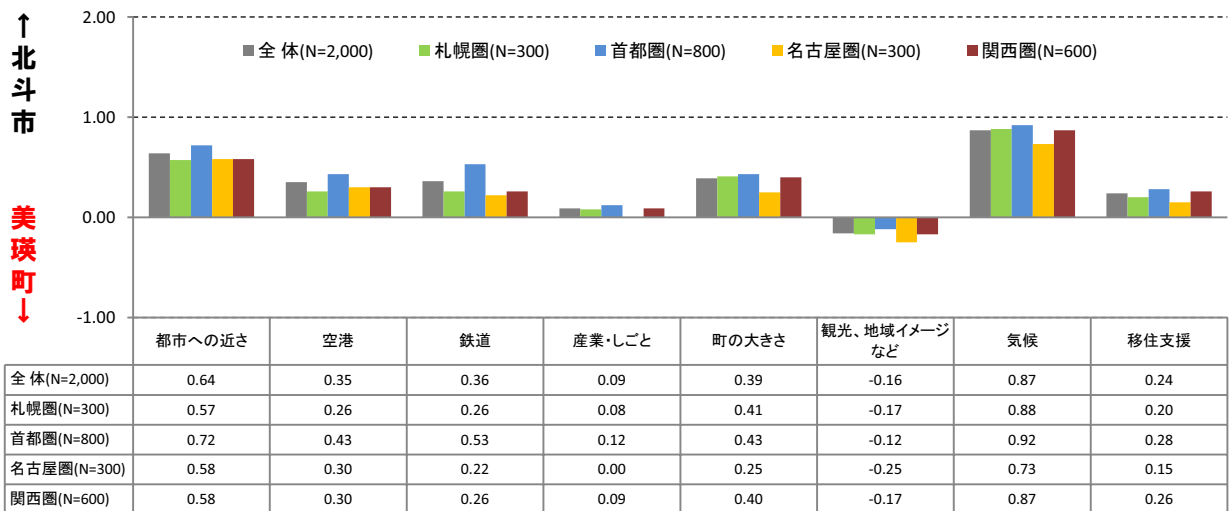
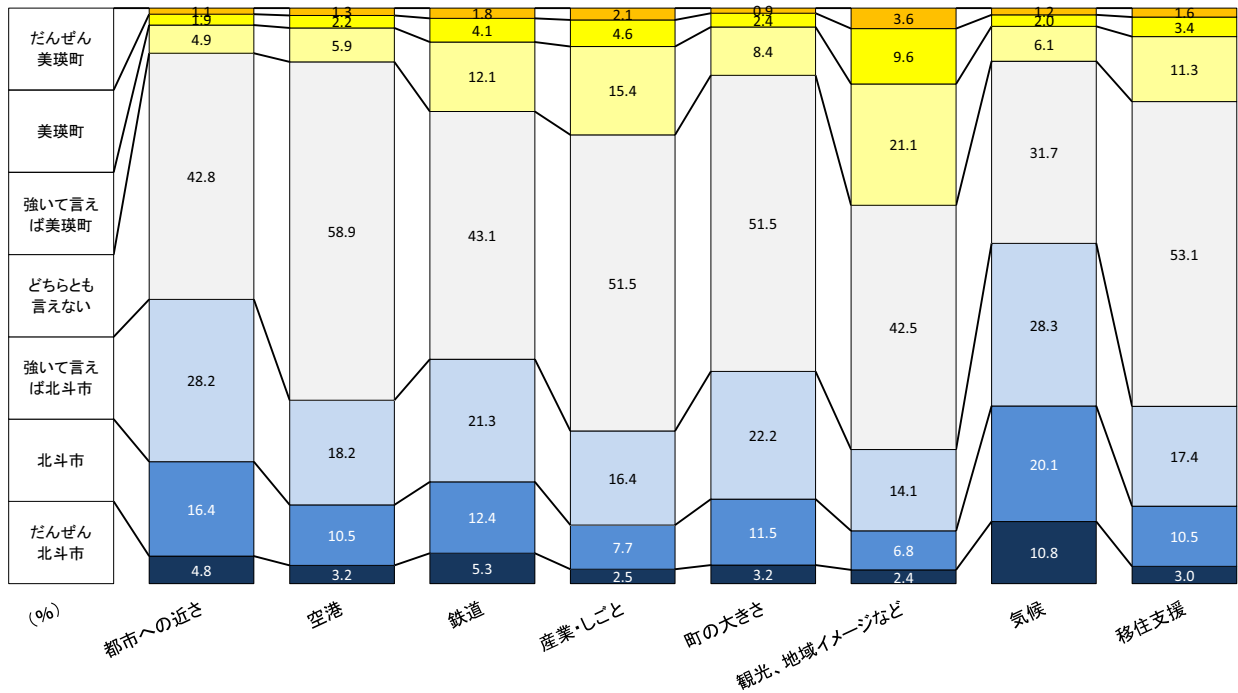
(注) 数値は「とても魅力的+魅力的」合計割合

2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

8)移住先としての北斗市VS美瑛町の魅力度比較

■移住先としての美瑛町との比較評価

- 道内で知名度、イメージが高いとされる美瑛町と比較した場合でも、北斗市は「気候、都市への近さ、鉄道利便性」などで大きな優位性を持つ。
- 一定の「都市規模」であることも高評価につながる。
- 劣位性があるのは「観光、地域イメージ」の分野。シティブランドの弱さ。
- 「産業・仕事」の分野も差がつかず、十分な強さを表しにくい。



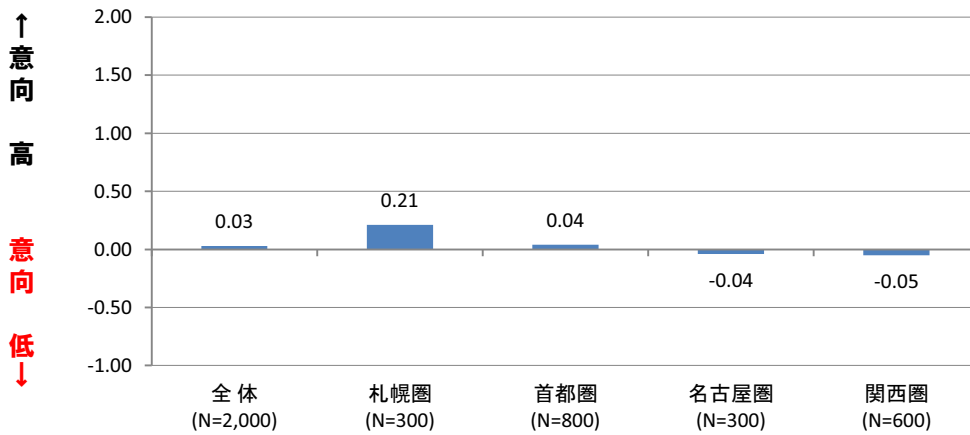
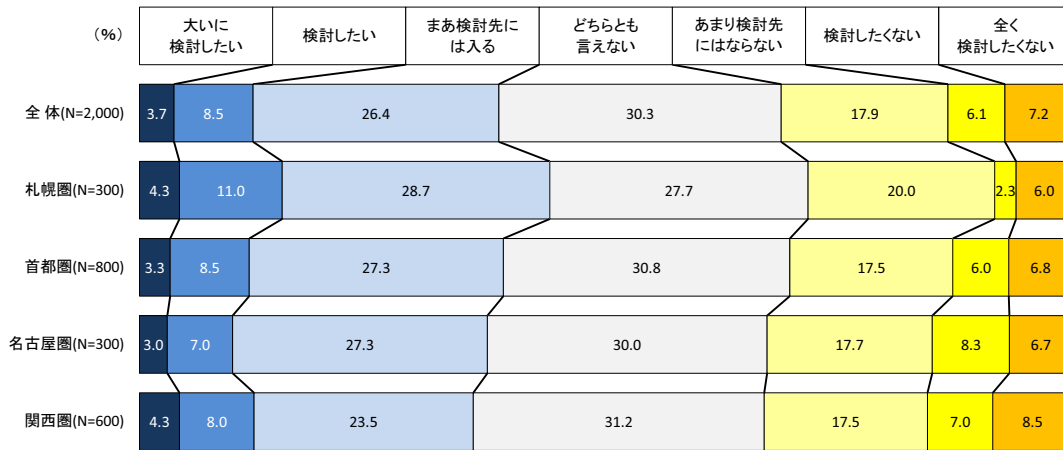


2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

9) 北斗市を移住先として検討する度合い

■ 移住先として北斗市を検討する度合い(調査への回答を通して判断させた)

- 北斗市への“強い移住意向＝大いに検討”は、どの圏域でも4%前後いる。検討度スコアでは札幌圏が最も反応が良く、これに首都圏が次ぐ。(※名古屋圏、関西圏はマイナス＝検討否定派が多い)



## 2-3 (a)インターネット調査 ～基本集計分析

## 9) 北斗市を移住先として検討する度合い

- 北斗市への移住意向度は札幌圏で高い。
- 札幌圏は特に30～40代、60代で大きい。
- 20代(ヤング層)なら、道外、特に西日本で反応が良くなる。
- 関西圏の50代も好反応。

